

25. 新生児聴覚検査・入院中の面会について

赤ちゃんの聴覚検査（新生児聴覚）について

新生児聴覚スクリーニング検査とは、早期に難聴の有無を発見するために、赤ちゃんに行う聴覚検査です。

早く見つけて適切な支援をすることによって、赤ちゃんの言語の発達を助けることができます。

当院では生後3日以内に聴覚検査を行っています。

この検査は、自動聴性脳幹反応（自動 ABR）という方法で、刺激音を聴かせ、音が聴こえたときに脳から出る微弱な反応波を検出し、正常な波形と比較することにより、自動的に判定を行う検査です。

結果は母子手帳に記載となります。

要検査が必要な場合は、1ヵ月健診時または、3ヵ月頃までに耳鼻科外来を受診してください。

※ お住まいの市町村で、聴覚検査の助成券ある場合は、入院時に聴覚検査の助成券を持参して下さい。聴覚検査の助成の有無につきましては各市町村へお問い合わせのほどお願い致します。

入院中の面会についてのお願い

面会については、病院ホームページを参照ください。

病棟ごとに対応が異なる部分もありますので、入院時にご確認ください。

なお、出産後の入院期間は5～8日と短く、産後の疲労回復や赤ちゃんとの生活のリズムを作る大切な時期です。

また、感染症流行の有無に関わらず、院内には様々な病気・症状の方が入院しておられます。

可能な限り、退院後にご自宅等での面会にご協力いただきますよう、お願いいたします。

市中の感染状況によっては、院内・および病棟での対応変更の可能性もありますので、ご了承ください。